

P [単元の目標]

- ・アメリカ手話について他の人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話したり、書いたりすることができる。
- ・相手に分かってもらえるように、友だちや外国の人に紹介したい日本のものについて伝え合うことができる。

D [単元の目標の達成に向けた手立て]

	手立て	資料
①	Retellを活用し、単元のパフォーマンステストをよりシンプルで、楽しく取り組めるようにするためのデザインの工夫	2
②	ICTの活用による考えの違いやミスを恐れず、一人一人が主体的に表現できる環境づくり	3
③	ALTや英語担当教諭が関わり合いながら、活動の質が向上する指導過程の継続	4

C

[単元の目標の達成状況]

- ・単元の言語材料を生かしながら、写真や絵を見て即興で表現できる生徒が増えた。
- ・1人1台端末を活用して録画をするなど、生徒が必要に応じて自分の発表等を振り返ることにより、表現に生かしていた。
- ・自分が得意なテーマを選択し、言語活動を通して流暢に書いたり、話したりすることができる生徒が増えた。

A

[改善の方向性]

- ・友だちのパフォーマンステストの動画を見て、自分の表現に生かすなど、生徒同士でシェアリングする工夫が必要である。
- ・データを蓄積することにより、生徒が自身の変容を実感させる工夫が必要である。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

①Retellを活用し、単元のパフォーマンステストをよりシンプルで、楽しく取り組めるようにするためのデザインの工夫

〔生徒の活動〕

- 各単元で学習した内容をRetellまでつなげ、絵や写真を基に自分で再現する。また、即興性の発揮など、さらに上のレベルにチャレンジする。
- 各単元で学んだ表現を基に、創意工夫を生かした活動に取り組む。また、その内容を自分のものとして発表する。
例:他教科等との関連を図ったタスク
 - ①道徳科（旭山動物園のスケッチ）
→未来の学校のスケッチ
 - ②家庭科（男女参画社会）

〔教師の指導〕

- ①デジタル教科書のよさを生かし、内容&音声も楽しく学習する。
- ②Retellは紙教科書、教科書準拠スライド、即興用スライドを準備し、ICTを活用して何度も挑戦させる。
- 単元の言語材料あるいは扱う内容によってパフォーマンステストを工夫する。Sunshineの教科書を使用するのであれば、Interactをそのまま、あるいはレベルアップさせて実施している。
 - ①分詞の形容詞をスケッチに活用
 - ②マララさんの読み物と連動

〔工夫点〕

- スライドを活用し、即興性をもたせる。（情報の即興性と場面の即興性）
- スクリーンキャプチャによる動画でのテストの提出にする。
- 生徒も分かるようパフォーマンステストのルーブリックを作成する。
*知識・技能のフェーズに限る

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

②ICTの活用による考えの違いやミスを恐れず、一人一人が主体的に表現できる環境づくり

〔生徒の活動〕

- 日常の学習から、生徒が主体的にデジタル教科書やクラウドなど一人一台端末を効果的に使いこなす。

***デジタル教科書は、一度に視覚と聴覚から情報を得られる**

- 自分自身のことなど、友だちの前で自信をもって表現する活動に取り組み、発想力や表現力を磨く。

〔教師の指導〕

- デジタル教科書の「よさ」を生徒と共有し、実際に気軽に使えるよう授業内外で使用させる。
 - ・ 内容理解（和訳）
 - ・ 音声確認
 - ・ 音読
- 表現活動はホワイトボード、創作活動はプレゼンテーション、内容理解・統計はアンケート機能を活用させる。

- 音読や劇、簡単な自己紹介等の定型的なものは、大勢の前で楽しく活動し、英語を用いて本来の自分の夢などの個人的な内容については、個人でICTを活用して安心して表現させる。

〔工夫点〕

- 難しいと感じた発音やリズムについて、自分のペースに合わせて確認することができる。
- 評価する時間の短縮、教材の共有化、蓄積を図ることができる。

- 教師が、各種アプリケーションや遠隔会議システム等を使い分ける。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③ALTや英語担当教諭が関わり合いながら、活動の質が向上する指導過程の継続

〔生徒の活動〕

- 自分の発表を自己評価、友だちからの評価、教師からのアドバイスなど、段階を踏んで**調整し**、よりよい発表につなげていく。

- 既習内容（英語に関する知識、技能）を用い、積み上げてきた表現力・創造力（話す、書く、考える）を発揮し、**身に付けたICTスキル**を生かして発表を行うことを粘り強く繰り返す。

〔教師の指導〕

- 主体的にコミュニケーションを図る力の育成のため、「パフォーマンステストへの最初のチャレンジ→改善→工夫→チャレンジ」のプロセスにおいて、英語担当教諭やALTが効果的に関われるようにする。

- 生徒に資質・能力を確実に身に付けさせるために、他教科等の内容を含ませながら各単元のデザインを行う。
- 生徒にICTスキルを身に付けさせるために、積極的に活用させる。

〔工夫点〕

- 英語担当教諭が英語で発話する機会を増やしたり、**パラフレーズ**（言い換え）したりと、多様な表現を用いて**コミュニケーションを続ける**意思の大切さを生徒に伝える。

- 「英語」だけではなく、**他教科等との関連を踏まえ、生徒の興味・関心が高まるような教材**を準備する。例えば、「**ごんぎつね**」や「**かわいそうな象**」などのイラストと音を付けて紹介する。

Example 1-1) Retell version 1

Think 1

全画面表示を終了するには Esc を押します

バスケットボールの試合の写真

- NBA
- basketball
- the king of sports



(MEMO)

Example 1-2) Retell version 2

Think 1

全画面表示を終了するには  を押します

バスケットボール選手の写真

バスケットボールの試合の写真

Example 2-1) ICT課題：夏休みのジャーナル



Day 1 July 29th

I went to Usio festival with my friends.

I ate tornado potato and soft cream.

It was very hot yesterday, so I drank a lot of tea.

I saw Mr.Kawabe, Ms.Kamanaka and ,my classmate.

They were dancing.



お祭りの写真

